



あぐい

第137号

平成20年5月1日発行

議会だより

- 2P 20年度新規事業
- 4P 町財政の歳入歳出
- 6P 常任委員会レポート
- 7P 一般質問
- 17P 追跡レポート
- 18P いきいきボランティア





平成20年度
 一般会計予算63億7千7百万円
 予算総額 約122億2千万円余りで
 5.9%の減額となりました。



20年度新規事業その主なもの

子育て支援事業

☆小学6年生まで通院医療費を7月より無料化。

☆安心してあそびや気軽に相談できる親と子のための集いの場所として、スポーツ村クラブハウス内に子育て支援センターあぐびつぴを設置。

教育相談事業

☆義務教育中の子育てに関する相談等に応じる場所として、スポーツ村クラブハウス内に教育相談センターを設置。

町制55周年記念事業

☆スポーツ村のトレーニング室をクラブハウス内へ移設。

☆行政情報を常時流すことにより、広く阿久比町をアピールする電光掲示板の設置。

☆田んぼアートを小学生などの参加により実施。

☆小学6年生を海外派遣し、国際的視野を持った心豊かな人材を育成。

☆小中学生が一日議員となり、子ども議会を開催。



カポエイラ

総合型地域スポーツクラブ発足

議案等

- ◎全員賛成可決
- 賛成多数可決
- ×否決

議案

- ◎阿久比町後期高齢者医療に関する条例の制定
- ◎政治倫理の確立のための阿久比町長の資産等の公開に関する条例の一部改正
- ◎阿久比町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ◎阿久比町立学校設置条例の一部改正
- ◎阿久比町遺児手当支給条例の一部改正
- ◎阿久比町子ども医療費支給条例の一部改正
- ◎阿久比町国民健康保険条例の一部改正
- ◎阿久比町介護保険条例の一部改正
- ◎阿久比町道路線の認定及び廃止
- ◎平成19年度阿久比町一般会計補正予算(第5号)
- ◎平成19年度阿久比町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- ◎平成19年度阿久比町老人保健特別会計補正予算(第2号)
- ◎平成19年度阿久比町土地取得特別会計補正予算(第1号)
- ◎平成19年度阿久比町下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- ◎平成19年度阿久比町介護保険特別会計補正予算(第3号)
- ◎平成20年度阿久比町一般会計予算
- ◎平成20年度阿久比町国民健康保険特別会計予算
- ◎平成20年度阿久比町老人保健特別会計予算
- ◎平成20年度阿久比町土地取得特別会計予算
- ◎平成20年度阿久比町下水道事業特別会計予算
- ◎平成20年度阿久比町介護保険特別会計予算
- ◎平成20年度阿久比町後期

意見書

- ◎国民の食の安全性の確保と食料自給率の向上を求める意見書
- ×介護職員の人材確保に関する意見書
- ×国民健康保険に係る国庫負担金の減額算定措置に関する意見書

陳情

- ・市町村管理栄養士設置に関する陳情書
- ・「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情
- ・自主共済制度の保険業法の適用除外を求める意見書の採択を求める陳情書

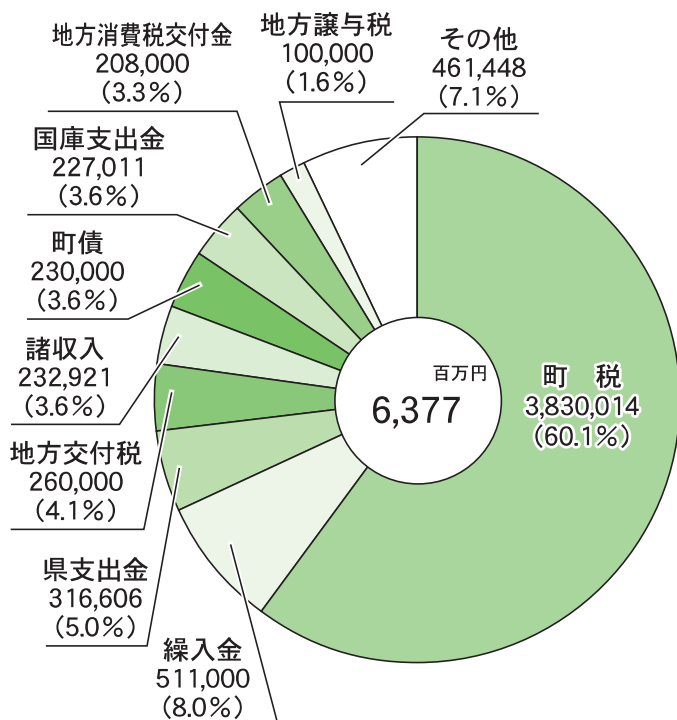
町財政の歳入歳出

平成20年度一般会計予算

一人当たり 約255,000円 (20年4月現在) (25,048人)

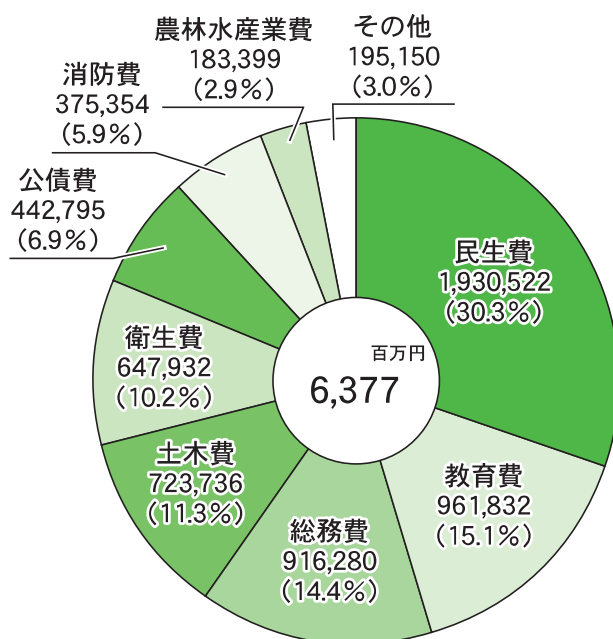
歳入構成

(千円)



歳出構成

(千円)



町の借入金及び基金

(20年3月末現在)

内 訳	金 額
町債（借入金）残高	3,677,857 千円
下水道事業特別会計公営企業債	4,582,445
介護保険特別会計事業債	14,000
借入金残高合計	8,274,302
基金残高合計	2,819,562

会計別予算総括表

区 分	予算額 千円	増減率 %	
一 般 会 計	6,377,000	△0.5	
特 別 会 計	国民健康保険	2,376,933	△2.4
	老人保健	182,060	△88.7
	土地取得	304	47.6
	下水道事業	933,500	30.7
	介護保険	1,206,863	3.4
	後期高齢者医療	210,518	皆増
	小 計	4,910,178	△17.1
水道事業会計(支出ベース)	933,308	42.3	
合 計	12,220,486	△5.9	

可決 阿久比町後期高齢者医療に関する条例の制定について

反対

枘内美渡子議員

全国で4番目に高い。今後75歳以上の人口比率や医療給付が増えた場合等保険料が高くなる。年金が月15万円以上の人から天引きの徴収は生存権の侵害です。国が決めたことでも自治体独自の対策は可能です。

可決 阿久比町国民健康保険条例の一部改正について

反対

枘内美渡子議員

国民健康保険条例第7条中の葬祭費を「6万円」を「5万円」に引き下げるものですが、広域連合で、保険料算定の議論の折、葬祭費は保険料に入れるべきではないとの意見がありました。保険料に組み入れられるから5万円が妥当となった経緯があります。

可決 平成19年度阿久比町一般会計補正予算(第5号)

反対

杉野 明議員

消防施設維持管理費の消防団詰所、消防車庫の地縁団体の無償使用を見直すべき。私立高校等授業料補助金は予算を残すことなく支援すべきである。

可決 平成20年度阿久比町一般会計予算

反対

杉野 明議員

財政が厳しいと言って各種補助金を4年間で20%一律カットと各種免除団体の会場使用料を町民に押しつけ、一方では55周年記念と言って約1千万円の電光掲示板を設置は多くの町民の納得は得られない等。

賛成

稲葉 景久議員

町民税の伸びを見込めるものの、交付税などの大幅減額の緊縮財源の中、ほぼ前年並とした事は、苦しくても支出すべきは支出し、抑える所は抑えている。小学6年生まで通院医療費無料、子育て支援センター開設、小学生の海外派遣事業開始など評価します。新たな財源確保を要望し賛成します。

討論

意見書

町民の声を
内閣総理大臣などに提出

可決

国民の食の安全性の確保と食料自給率の向上を求める意見書

提出者 鈴村 一夫議員

否決

介護職員の人材確保に関する意見書

提出者 杉野 明議員

賛成討論

枘内 美渡子議員

深刻な人材不足は劣悪な労働条件にある。月給は平均22万。労働も過酷。専門性を必要とする仕事でありながら報酬削減が行われ非正規職員が多くなっている。国は高齢人口増を見込み、2014年までに介護職員を40万〜60万人に増やす必要があるとしている。

否決

国民健康保険に係る国庫負担金の減額算定措置に関する意見書

提出者 枘内 美渡子議員

賛成討論

杉野 明議員

子どもの医療費助成などの現物給付を行っている市町村に対し国保の国庫補助金を減額する制裁措置をしている。これは政府が推進する少子化対策とも逆行する。

常任委員会

レポート

総務文教

緊縮予算が反映される

当委員会に付託されました7議案は、慎重審査の結果すべて可決しました。主なものとして、平成20年度一般会計予算は、町政55周年事業での電光掲示板設置について賛否両論となり、自主防災会資機材補助金は、今後の検討を要すとの意見が出ました。また平成19年度一般会計補正予算では、私学助成について半分残った予算の有効活用などの要望・意見が出ました。

(稲葉景久議員)



幼保小中一貫教育推進校

建設厚生

子育て支援センターのオープン

当委員会に付託された議案は、建設部関係6件、民生部関係14件でした。その主なものは、4月から始まる後期高齢者医療制度に関する条例の制定。子ども医療費の支給対象を変更（通院医療費の支給を小学6年生まで拡充）する条例の改正、子育て支援センターがスポーツ村でオープンされることなどです。いずれも慎重審査の結果、可決されました。また、町道路線認定において現地視察を行いました。

(澤田道孝議員)



あぐびっぴの見学会

Q&A

町政を問う



三留 亨 議員

小学生までの通院医療費無料化を

平成20年7月より拡大実施



おだいに

学校給食の安全対策と幼児の献立は 研究していきます

Q 現在本町の子供医療費無料化は、入院医療費が中学生まで、通院医療費は未就学児までとなっている。昨年度は本町財政の実力と将来にわたる必要事業との関連から断念したが、本議会に提案される一般会計において小学生までの通院医療費の無料化が計上された。

A 健全財政維持の観点から慎重であった本施策について、踏み切った理由と実施内容等について伺う。
近隣市町の実施状況等を含め、慎重に検討を加えた結果、子育て支援の見地から対象を拡大するもので、平成20年7月診療分より実施するものです。

Q 中国産食品の危険性が顕在化した。同国の政府や製造者の対応、耕作地や用水の汚染、人民の為政者に対する不信と反抗、反日教育等を考えると、早急な改善は見込めない。
①本町の学校給食における中国産食品の使用状況と対応は。
②公立保育園の給食は学校給食センターを活用していることもあり、献立は乳幼児も小中学生と原則同じである。改善を図るべきと考えるが。



楽しい給食 ♪

A ①問題となっている冷凍キョーザを含め、主な食材には中国産のものは使用していない。問題は発生しておらず、保護者からの問い合わせはありません。
当分の間は、極力中国産以外の食材を使用する。
②給食センターでは、小中学校と幼稚園・保育園とは同じ献立の給食をつくっているが、今後、乳幼児向けの献立について研究していきます。

その他の質問項目

- 後期高齢者医療制度の町民への影響は
- 英比小学校通学路の安全対策について

公共料金等の収納率を100%に

粘り強く訪問



勝山 制 議員



町民税、固定資産税、軽自動車税、都市計画税、水道料、保育料、給食費等の収納率が100%に達していない納付されないからといって放置しておくことは、

財政ばかりでなく負担公平の見地からも許されないことです。悪質と思われる者には断固しかるべき措置をしなければいけないと思います。収納率の現状と収納率向上は。



平成18年度の収納率は、町税全体で95・7%。今後も滞納世帯をこまめに訪問して理解を求めていく。上水道は99・8%、下水道は99・86%で、対策としては給水停止等を行っていく。保育料は99・13%。保護者と相談しながら、生活苦の場合は分納にも応じている。

給食費は99・78%の収納率。学校側と連携を保ちながら、今後とも粘り強く督促に努めていく。

道路占用の取り組みは

適正に指導していく



阿久比町財政は決して豊かな財政とはいえないと思う。そこであらゆる歳入の確保に努力を思っているが、収入し得るものを放置していると思います。町民の公平差を減少して行く取り組みをする考えは、ありませんでしょうか。

道路占用の現状と今後の方針は。



道路占用物として現在使用料を徴収しているものは中電、NTTの電柱と東邦ガスの埋設物及び個人で橋梁等又、道路占用料の減免に関する規則第2条第3項に該当する施設があります。今後の方針としては、町内全体の道水路を職員が現場を把握することは非常に大きな動力が必要となります。今後も把握し、適正に指導していきます。



次世代を担う子どもが健やかに育つ環境整備は、町民共通の願いでもあります。少子化対策として、不妊治療、妊娠中の不安解消である妊婦検診、第3子以降の出産祝い金、第3子以降の保育料の無料化などの拡大を思いきって行うべきである、町の考えを伺う。



第3子保育料無料化については、昨年9月までは町単独の制度として実施していました。10月からは県の補助制度が実施され、対象範囲が拡大されました。今後も県制度を継続していく考えです。第3子以降の出産祝い金については、現在出生児1人につき5万円を支給しています。今後も誕生を祝い健やかに成長することを願い、現行の支給額をお祝いとするものです。



健やかな成長を

少子化対策の支援を 現行で継続していく

その他の質問項目

●平成20年度減反、転作について



杉野 明 議員

子供医療費無料化の拡充は 助成制度の拡大は図られている

Q 子どもの医療費無料化の拡充について、昨年は毎議会ごとに提案。今年度予算に病院も小学校卒業まで拡充されたことは、署名された方々の願いが実現されたことと大変喜ばしい。

① 一歩前進で他の市町と比較してどうか。
② この施策の予算措置はいくらか。
③ さらに中学校までの枠の拡充、予算はいくらか。

A ① 知多郡内の大半の市町で、助成制度の拡大が図られています。
② 本年度は、1,596万円を予算計上しています。
③ 約982万円程と試算しています。

宮津公園の水道、水洗トイレの設置を 県費補助制度を利用すべき

Q 12月議会に引き続き質問する。

① その後の進捗状況はどのようになったか。

② 水道設置は160万円の見積りだが、町単独でなぜ出来ないのか。
③ 県の補助事業でやるというが、県のどついった名称の補助事業か、事業の内容を詳細に示された。また、県の予算規模は。

A ① 愛知県知多建設事務所に、都市公園整備事業として要望いたしました。

② 水道設置を単独で出来ないかについて地区要望は、水道・水洗トイレを一体での整備であります。
③ 町としても県費補助制度を利用すべきであり、単独で考えるはありません。補助事業名は、市町村土木事業費補助金であります。

町の人事政策を問う

可能な職種はパート対応で

Q 2月15日付け「あぐい広報」にパート、嘱託職員募集の記事が掲載されている。仕事の専門性、継続性、住民との密接な関わり、全体の奉仕者、守秘の義務など住民の命、暮らしと密接なつながりをもって信頼をもとに行われているが、「官から民」の名のもとに指定管理者制度の導入など、公務の民間移行が行われている。これからの地方公務員のあり方が問われている、長期的展望に立って職員のパート化はこれで良いのか伺う。

A 現在、人件費節減のため一部の事務補助、保育士、保健師・看護師、用務員、図書整理員、調理員等の職種においてパート職員で対応しています。

今後もパート対応が可能な職種では人件費節減に努めたいと思います。業務の委託や指定管理者制度も民間の能力を活用、事務効率や経費削減に有効だと思いますので可能な範囲で実施したいと思います。

その他の質問項目

● 平成20年度予算案を問う



元気に遊ぶあぐいっ子

ゴミ分別の徹底化と 犬のフン箱設置を



大村 文俊 議員

分別ゴミ箱設置の検討／マナー向上の啓発



①循環型社会形成
推進のために分別収
集の徹底化をめざして、
庁舎内に分別収集用のゴ
ミ箱設置を考へては。

3R（リデュース・リ
ユース・リサイクル）へ
の取り組みを。

②犬のフンの放置をなく
す取り組みとして犬のフ
ン用ゴミ箱の設置を。

飼い主のマナー向上へ
の取り組みは。



①家庭からの、資
源ごみについては、
地区の方々の協力により、
ごみの減量化と資源の有
効利用を今後も推進して
行きます。

公共施設に分別用ゴミ
箱の設置は、所管課と協
議、検討して行きます。
②犬のフン箱の設置につ
いては、マナーの悪い飼
い主のために、犬のフン
禁止看板、広報による啓
発を行っておりますが、
今後、犬の散歩時に必ず
フン取り器具を持参する
ように検討します。

子供たちのための学童保育を

町が主体となつての環境づくり



現在の学童保育「げんきッズ」への、職員に
よる現地視察の状況、及び来年度からの具体的
な運営内容を伺う。

子供たちのために、町行政がリードして、保護者
と指導員の信頼関係が築ける交流会の開催を。



毎日ではないが、不定期に主任指導員に現在
抱えている問題を聞き、解決方法を協議してい
ます。それを受託者へ町の意見として伝え改善する
よう指導しています。毎週4カ所開所するよう強く
指導すると共に事業計画に保護者の意見を取り入れ
るよう指導します。今後も町が主体となつて、安心
して子供を預けられるような環境になるよう努めて
いきます。



明るい英比げんきッズの子どもたち

住民の心配解消を最優先に

交通安全指導に努める



ユーストア南側道路は、大型車両の通行が多
く大変危険であり、住民はいつも交通事故の心
配をしているが、今までの対応は、どうなっている
のか。

人のいのちに関わることであり、交通事情だけ対
応するのではなく、住民の心配を解消し、安心して
暮らせるための対応は。



半田警察署・県と
協議をして交通安全
に努める。

平成15年度地域行政を
語る会でのユーストア駐
車場の南西角交差点に信
号機設置の要望は、今後
の通行車両の動きや交通
量の状況を見て検討する。
平成16年度の大型車両
進入禁止の要望は、名古
屋・半田線、西尾・知多
線の渋滞の恐れが無けれ
ば、規制できるとのこと
でした。今後は、道路改
良の早期完成を要望し、
交通安全のルールと知識
の普及・指導に努める。



ユーストア南側道路の現状



山本 幸司 議員

介護保険料の見直しを

介護給付費準備を取り込んで設定



Q 平成18年の地方税改正により、住民の国税等による負担が増えるばかりである。正に国のいいなりであります。よって町の裁量で決定できる介護保険料位については平成21年度の見直しにあたり、現料金の引き下げを目指して、町政全般で勘案して戴きたい。また介護不要との観念から自己努力している住民や団体のために報いる事のできるように。



A 介護保険料の見直しにあたっては、現在積み立てています介護給付費準備基金を歳入要因として取り込んだの設定となります。介護保険を使わないよう努力なさっている方には感謝しますが、疲れが見えたら速やかにご相談下さい。

第3供給点について

近隣市町からは受けられない



Q 宮津、板山地区の団地造成に基く人口増による配水池計画について伺う。本町では、10数億かけて新たに配水池を築造しようと計画をしている。

しかし当地には、県と半田市2基の配水池があり、特に半田市とは、元市長との水道利用による確約もある。厳しい町財政の中、むやみに借金を増やす事のない様に、半田市との協議をし、無駄のない町政を望む。



A この第3供給点計画については、昨年6月・9月定例会で答弁してきたとおりで、現行の本町の水道事業の下では近隣市町から水道水の供給を受けることは出来ないと判断しています。また、半田市及び県企業庁の担当部署との事前協議においても同様の結果でした。



第3供給点建設予定地(板山地区)

東部・南部の基盤整備と企業誘致を

一層の事業推進を図って行く



Q 厳しい町財政の中、国や町の改革もあり住民負担も増え続けています。

その様な状況の中、住民サービスを向上させるには財源が必要となります。有効な土地利用による基盤整備を行い、優良企業の誘致等による財源の増収が望まれます。

町税8千万円を投入し9年間手つかずの、阿久比・矢高及び宮津地区の両基盤整備事業の促進を早急に図るべきである。



A 阿久比・矢高、宮津・大矢知地区土地改良事業は、平成19年6月定例会にもお答えしましたが、県営補助事業や非補助の事業で検討してきましたが、地権者からの事業費負担、農業の担い手基準などの理由により中断しています。

しかし、現在、地元準備委員会の役員構成について、検討頂いている動きもあり、一層の事業推進を図って行きます。

その他の質問項目

● 阿久比町役場の町民に対する対応について

適切なセットバックの指導を

指導要綱の検討をする



鈴木 一夫 議員



Q 良好な生活環境の確保及び災害時、救助、消防活動等、適切な道路幅員の確保は重要な事であります。道路中心線から2メートルの後退を指導しているようですが、今後の安全安心の町づくりの基本として以下4点について伺う。

- ① 基本的な考え方。
- ② 過去に問題はなかったか。
- ③ 現在の指導方針は。
- ④ 今後、指導要綱を作成する用意はあるか。



A 後退用地の確保は買収又は、寄附を地権者と協議が必要である。現在は建築物、工作物を作らないように指導を行っています。地権者からの分筆登記が出来ない案件や、新築工事が完了後に後退用地に工作物等を作っている箇所があります。窓口相談の中で用地を確保が出来るようお願いしています。また指導要綱について内容を検討いたします。

夢のある町づくりを

住民の意向を把握した計画に



Q 自然環境を守る場所と開発を推進する場所を明確にし町の活性化を促進し、バランスの取れた町づくりは全住民の願いです。以下4点を伺う。

- ① 誰もが住みたくなるキラリと輝くまちづくりのイメージとは。
- ② 第4次計画を第5次にどう反映させるか。
- ③ 広域行政の位置づけとその取り組み。
- ④ 東浦町が平成23年4月1日に市制を目指すこと発表されたが本町はどう対応するか。



A ① 広く住民の皆様
の意向を把握し、本町の自然、歴史、文化など
特色・特性などを活かした計画書を策定していく。
② 第4次総合計画を総括し、時代に即した総合計画の策定に取り組んでいく。
③ 「知多は一つ」の理念のもと、広域的な課題に対する共通認識を共有し、今後もより一層の連携強化を図っていく。
④ 区画整理事業や土地改良事業など、人口増の施策の推進に努力する。



卯之山地区の農業振興地域

道路特定財源の影響は

影響額は1億1千万円の見込み



Q 現在国会においても県会においても暫定税率に關し大きな社会問題になっていきます。もし廃止をされると地方財政に大きな打撃となります。道路整備だけでなく、福祉、教育など行政サービスの影響も計り知れないものが有ると思います。以下2点について伺う。

- ① 本町においても当然影響があると思うがどうか。
- ② 有るとすればどれ位の影響額になるか。



A ① 暫定税率が廃止された場合、地方道路譲与税、自動車重量譲与税、そして自動車取得税交付金の3点で影響が生じる。
② 平成18年度決算ベースで試算すると、地方道路譲与税5百万円、自動車重量譲与税5千2百万円、自動車取得税交付金5千3百万円で合計1億1千万円の影響額が生じる見込み。

その他の質問項目

● 都市計画の見直しについて

追跡
レポート

2年前の
あの答弁はどうなった!!

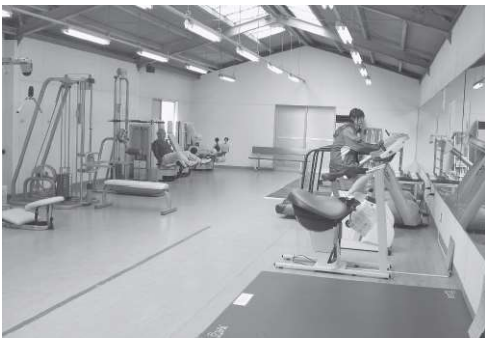
過去に質問した内容が現在
どうなっているか調査しました。

Q 山田池と蟹田川上流域の水路の安全は

A 山田池の管理者と協議して1日約2m水位を下げる改修を検討。蟹田川上流は必要に応じて土留めを行い、蛇行している部分は用地の問題がありますが平成18、19年度に施行予定。

現在は

山田池改修は、平成20年10月より2年計画で改修されます。
蟹田川上流水路改修は平成20年6月を目途に改修を実施しています。



現在のトレーニング室



クラブハウスに移転

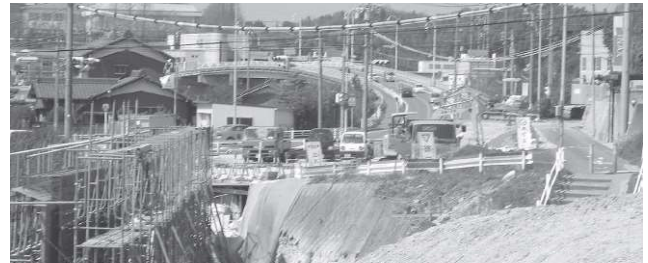
平成20年度にトレーニング室をクラブハウスに移転、使用時間も延長いたします。AEDは平成19年度に5台設置いたしました。順次公共施設に設置していきます。

Q オアシス大橋東交差点改修は

A 交差点の改修は、交差角度が基準外で隣接地との高低差が大きいことが障害になり半田警察及び知多建設事務所とその安全対策を協議し、予備設計は行った。

現在は

交差点改良事業の延長130メートルについては、現在県事業に合わせて町事業を平成21年3月を目途にして実施しています。



オアシス大橋東交差点

A

クラブハウス全体の活用方法や改修費用等を検討するなかで考えていきます。
AEDは、18年度にスポーツ村と小中学校に設置し、他の施設は今後計画的に設置していきます。

現在は

Q

スポーツ村トレーニング室の移転と公共施設にAEDの設置を。

